阿智村事務事業評価シート

事務事業名	学力向上支援事業	担当者	教育委員会　　学校教育係

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	1．個性を尊重し、心豊かな人生を送れる村／教育文化の向上／学校教育の充実
関連する主な計画等	教育行政大綱
根拠法	
実施方法	☑ 直接実施　☐ 業務委託　☑ 補助金交付　☐ 負担金　☐ その他
事業の対象者	児童・生徒
事業開始年	☑ 時期不明　事業の終期　☑ 終期未定

②事務事業の計画（PLAN）、取組（DO）

実施目的	①　基礎学力の定着のための支援と特別な支援を必要とする児童生徒への個別支援や学級運営の安定。 ②　学校独自の主体的な取組を支援。 ③　小学生の外国語活動、中学生の英語教育の充実、国際交流の進展と諸外国に対する理解を深める。
具体的取組	①　学習支援主事（放課後学習指導）の配置、教員の加配、支援員の配置、心の教室相談員の配置、日本語指導員（通訳）の配置をおこなった。 ②　学校における学力向上等に向けた独自の取組に対し補助をおこなった。 ③　小学校の外国語活動においては、地元在住の外国人に依頼し、5．6年生を対象に年次当たり年間35時間、外国語に親しみ、異文化に触れる授業をおこなっている。また、中学校においては、ネイティブの英語に慣れるよう専科教員とのティーム・ティーチングによる授業をおこなっている。
実績・効果	①　・学習支援主事・・・・第一小　1名、第二・第三小　1名、浪合小　1名、中学　1名 ・少人数学習編成・学習習慣形成講師・・・・第一小　2名 ・支援員・・・・・・・・・・・・・・・第二小　2名　　・特別支援教育支援員・・・・第三小　1名 ・複式解消教員・・・・・・・・清内路小　1名　　・少人数学級維持・特別支援教員・・・・阿智中　2名 ・心の教室相談員・・・・・・・・阿智中　1名　　・日本語指導員・・・・・・・・・・阿智中　1名
	②　・学力向上支援金・・・・・・・・全小学校 【内容】 ・第一小…こま作り活動、水泳学習、水田・葉牡丹学習、特別支援学習教材、教科用ドリル ・第二小…豆腐加工学習、特別支援学習教材、満蒙開拓平和記念館学習、教科用ドリル ・第三小…水泳・太鼓・しめ縄指導、ニジマス飼育（ます池管理）、教科用ドリル ・浪合小…詩吟・太鼓・五平餅指導、漢字検定・天文検定・教科用ドリル ・清内路小…異文化交流、ほお葉寿司・五平餅・こま作り指導、縄跳び検定、表現体験活動、教科用ドリル
	③　・ALT・外国語指導助手・・・小中学校　2名　（阿智中・浪合小　1名、第一・第二・第三・清内路小　1名） 小学校においては5つの小学校での学習レベルを揃えるために、学年ごとの学習指導案を利用し、学習をすすめており、平成26年11月から引き続いて地元在住の外国人に担任の指導助手として勤務してもらっている。また、年4回、外国語活動・英語担当者会議を開催し、各校担当者1名と外国語指導助手が出席し指導内容の統一をはかっている。 中学校においては、英語を母国語とする青年を招致し、一日を通し、授業以外でも自然な形で英語を聞き、外国人に接することで英語科授業の充実と異文化交流に役立っている。

歳出の内訳（千円）	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	学習支援主事賃金	350	複式解消教員給料等	3,351	日本語指導員賃金	443
	少人数・学習習慣講師賃金	2,527	学級維持・特別支援教員給料等	7,217	学力向上支援金	803
	支援員賃金	3,640	心の教室相談員賃金	1,069	少人数・支援教員給料等	7,216
	特別支援教育支援員賃金	1,365	ALT給料・賃金等	5,390		

事業コスト	区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額（千円）		34,005	21,541	33,371	34,980	34,980
		うち一般財源	34,005	21,541	33,371	34,980	34,980
		うち補助金					
		うち個人負担					
	従事職員（人）	正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		臨時職員					

③評価（CHECK）

区分		個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	b	保護者や学校のニーズは高い	B
	手段、成果は妥当か	a	学力向上のための支援として妥当	
	対象者の設定は妥当か	a	すべての児童生徒を対象としており妥当	
	村の関与は妥当か	b	将来を担う子ども達の育成に村が関与すべき	
有効性	期待された効果が得られたか	個々の状況や学級編制等の状況に応じ必要な対応をしている		A
効率性	コストの削減に努めたか	c	保護者や学校のニーズに応えながら、効率的な執行を検討する	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	必要とする支援が変化するためその都度検討し効率性を高めている	
公平性	受益者負担は適切か	すべての児童生徒を対象としており、個々の状況により等しく利用できる		A
総合評価	B			

④改善（ACTION）

事業の方向性	**継続・維持**
課題	①　教育支援主事の選任 ②　学力向上を目指す学校独自の取組の見直し ③　小学校3．4年次の外国語活動への対応を検討
今後の取り組み	全国学力・学習状況調査や生活習慣チェックなどから児童生徒の現状を分析し、児童生徒の学力向上支援を更に進める。